

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



日本から衣類などが届きました!(カンボジア孤児院)

皆さまの尊い御支援、御協力、いつもありがとうございます。

前回のニュースレターで、第17回総会にむけての理事会が行われることを皆さまにお伝えしましたが、その理事会も無事終了し、6月2日に総会を行うかたちとなりました。

次回のニュースレターで総会の御報告ができるものと思っております。ただ、1年毎の区切りとして総会を見ると、たしかに毎年毎に働きは進んでおり、同時に、ケアしなければならない子供たちの数も増してきていることは確かなようです。それ故、さらに私どもの働きも拡大して行く必要に迫られております。その為には、さらに、より1人でも多くの方々に私どもの働きを理解していただき、パートナーとして加わっていただければ、と心底願っているところであります。

しかしながら、各孤児院の報告を受けるにあたり、子供たちの成長を耳にする度に、皆さまの御支援、御協力あってこそ、と痛感させられております。各孤児院の子供たちも本当に成長してきております。その為、色々多くの必要も生じております。

何卒、これからも、皆さまの御支援、御協力よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

雨の日が多くなって来て、雨季入りまでもうすぐだと思われま。今回は、あちこちあった水漏れの所や雨水が外から入って来ないように修理し対応を取りました。今年はその成果がちゃんと現れて、雨の被害が出ないようにと願っています。このところ、体調を崩す子ども達が続いています。1人男の子の体調がすぐれず検査を受け、治療を受けているところです。孤児院内で簡単な予防対策などは取っていますが、子ども達自身が学校や集団の中に入って行くことは常々あることです。対応策をさらに検討しています。先月記させて頂きました女の子は、その後検査入院をすることになりましたが、風邪以外で問題はないということがわかり点滴の治療のみを受けて、現在は元気に回復しています。皆様のご支援を通して、子ども達は学校での学びが続けられています事、また病気などの対応に関しても病院にかかり必要な治療などを受けることが出来ます事を、本当に感謝しています。



穴が開いたセメントの所を塞ぐ作業を手伝っている男の子達

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

2018年～2019年の学期の登録(5月2日～6月1日)が既に始まっています。今年度の就学支援生は50人です。新学期は6月4日に始まりますが、今月中に学用品など必要な物を子どもたちに届けたいと思っています。登録者(生徒数)が増加しているので、フィリピン政府はさらに教室や教師を増やそうとしています。5月28日～6月2日ブリガードエスクウエラと言う恒例の行事が始まります。これは子どもたちと保護者が一緒に校庭や教室の掃除や修理をして新学期を迎える準備をするものです。2018年度は50名の子どもたちの就学支援を予定しています。50人分の必要額合計は\$6,789.92 (送料を含め約74万円)が必要です。具体的な内訳は金額の内訳は、学用品費\$915.10、制服代\$240.00、学校の靴\$1,637.78、テスト用紙、行事参加費など、その他費用\$2,706.37、高校費用\$1,290.67となっています。2018年度も50名の子どもたちが今年度も学校へ通い続けることが出来るように、学費などの必要が満たされるように、皆様のご支援を心からお願いたします。



「ブリガード」のお知らせ

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に、心から感謝申し上げます!

隣国コンゴ共和国でもたしてもエボラ出血熱が発生したというニュースが入ってきました。感染が拡大しないことを祈るばかりです。

そのコンゴからは、紛争を背景にした難民がたくさんザンビアに来ているのですが、以前、ストーリーにいたコンゴ人兄弟を保護していたことがありました。弟は一切英語もローカル言語も習得できず、相当な苦勞をしていた事と思います。

毎日泣きながら「今すぐコンゴに帰りたい。助けて下さい。」(わたしはフランス語でやり取りできていました)と訴えてくるので、最低限の旅費を与えて、送り出しましたが、先日、その弟は無事出国して、兄だけは戻ってきたという情報が入りました。しかも、精神を病んで戻ってきたと...一体何があったのか、スタッフが捜索に乗り出しています。ご支援を頂いて購入したヴォクシー車に不調が出てきていて、緊急に整備する必要があります。8-10万円ほど必要としておりますので、どうかご支援をよろしくお願い致します。



贈り物のとともに

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援を心より感謝いたします。日本に滞在して3カ月が過ぎました。今回、長く日本に滞在して痛感したことは、ブラジル・サンパウロ州の田舎の私が住んでいる地域と比べて、東京はかなり湿度が高いことです。ひどく乾燥していた私の皮膚の状態も自然と良くなり喜んでます。千葉県の実家では普段は弟家族が両親と住んでくれていて、助かっています。今回の日本滞在では、今までよりじっくり両親と過ごして話す時間ができました。

何事でもそうだと思いますが、福祉の働きは、精神面でも体力面でも、家族の理解と協力が大切だと思われています。

さらに家族の理解が得られ、私自身のなすべき働きを全うできるよう努めていきたいと思います。皆様のご支援をこれからもどうぞよろしくお願い致します。



真栄城さんご夫妻と松本スタッフ